

2020年10月13日

関係者 各位

東京都小学生バレーボール連盟

競技委員長 今泉 武志

審判委員長 及川 千春

東京新聞・東京中日スポーツ杯争奪
第41回 東京都小学生バレーボール選手権大会
競技・審判上の注意事項について

今大会では、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、競技・審判各委員会で以下のよう
に対応を考えました。各会場の大会責任者や審判責任者の判断や指示に従い、柔軟に対応をお願い
します。

別途、競技上の注意事項も必ずお読みください。

電子ホイッスルの使用について

飛沫感染防止のため、今大会では「電子ホイッスル」を使用します。

- 接続するコートでの使用の場合は、音色に注意するよう、トスの際、チームに伝えます。
- マスクの着用可とします。
- 両チームに聞こえるように、長めにホイッスルをします。
- プレーが止まらない場合は、再ホイッスル、ネットを揺らす等、工夫して、必ず止めます。
- ハンドシグナルを出す際は、何の判定を出しているか、チームにわかりやすいように出します。
左右の持ち替えが必要ならば、臨機応変に対応してください。
- 使用前後の電子ホイッスルは、必ず消毒をします。(記録席にあります。)

※電子ホイッスルの破損・電池切れ等、使用不可となった場合のため、ご自身のホイッスルは必ずご持
参願います。

試合前後の握手

監督・選手・審判との握手は行わない。

試合前後のあいさつ

ネット付近に駆け寄らず、エンドラインに並んだ状態であいさつをする。

ト ス

必要最低限の会話に留め、握手は行わない。

タイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。
- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけはチームの判断とします。使用後には持ち手の消毒をしてください。

テクニカルタイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。

インターバル（セット間）

- 3分30秒とします。（前のセットのボールデッドから3分でホイッスル）
各セット終了時（エンドラインに整列後）、選手を一旦ベンチに戻します。
選手とベンチスタッフは、各チームでベンチの消毒を行い、各自の荷物を持ち、副審の合図で、コートチェンジをします。
- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけはチームの判断としますが、使用後には持ち手の消毒をしてください。

その他

- ① ボールペン
 - ・ 使用者がそれぞれのボールペンを使用してください。各チームでの準備をお願いします。
記録席で貸した場合は、必ず消毒をしてください。
- ② ラインジャッジ用フラッグ
 - ・ 各チームで持参をお願いします。
- ③ ボール
 - ・ 使い捨ての手袋とペーパータオルを使用して、消毒をします。
（消毒の担当者やタイミングは、各会場のミーティングで必ず確認をしてください。）
- ④ 得点板
 - ・ 多数の人が触れるので、使用前後は消毒を行います。
- ⑤ チームベンチ（消毒の準備は、各チームでお願いしています。）
 - ・ ベンチは椅子を3つのみ。控えの選手は間隔を空けて待機します。
今大会では、ウォームアップエリアを設けません。ベンチの横から間隔を空けて待機します。
控えの選手が、ベンチの延長線から前に出てこないように、主審・副審は、コントロールをします。
- ⑥ 主審・副審・記録員は、審判台、記録席（机・椅子）の消毒を毎試合終了後、行ってください。

競技・審判運営に関して、何かお気づきのことがございましたら、大会前は、競技・審判各委員長に、お問い合わせください。大会当日は、当日の会場責任者の指示に従ってください。